

セラピストとしての関わり方・ありかた 『グロリアと3人のセラピスト』を紐解く

2025年 2月28日(金)
10:00~17:00

ゲシュタルト療法第一人者から直接学ぶ
『グロリアと3人のセラピスト』映像解説
セラピストの視点とは

心理療法の大家「来談者中心療法」のカール・ロジャース氏、「ゲシュタルト療法」のフレデリック・パールズ氏、「論理療法」のアルバート・エリス氏、の3人のセッションの映像をひも解いていく心理職限定の学びの機会です。毎年、海外の学会招聘の百武氏による解説から、異なる心理療法のアプローチの違いやセラピストは何をしているのかをみていきます。

今回は3つのセッションを紐解きながら、“クライアントとの関わり”や“セラピストとのありかた”について考え、学べる機会です。そして、百武氏のリアルセッションも行います。目の前での学びと心理職として自分自身を振り返り、自己を整えていきましょう。

対象 心理職 心理の業務に携わっている人
(公認心理師、臨床心理士、心理カウンセラー、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、保健師、産業医等)

定員 25名

会場 岡谷鋼機名古屋公会堂

(名古屋市昭和区鶴舞1-1-3) JR鶴舞駅徒歩1分

参加費 一般 25,000円(税込)

講師

ももたけ まさつぐ

百武 正嗣氏

日本のゲシュタルト療法の第一人者！

GNJ(NPO法人ゲシュタルトネットワークジャパン)理事長
フェルデンクライス国際資格
カリフォルニア大学院 心理学部卒。帰国後ゲシュタルト療法の創始者であるPerlsと妻Lauraの弟子であったPaulla Bottome博士に師事する。Paullaの亡き後を継ぎ仲間とGNJを設立、以後、全国でゲシュタルトのワークショップを開催。日本ゲシュタルト療法学会を設立し、6年間理事長を務める。

著書

- 『エンpty・チェアテクニック入門』川島書店
- 『気づきのセラピーはじめてのゲシュタルト療法』春秋社
- 『家族連鎖のセラピー ~ゲシュタルト療法の視点から~』春秋社
- 『ライオンのひなたぼっこ』ビーイングサポート・マナ



お申込み:下記よりお申込みください。

定員に達した時点で、申込みを終了します。

キャンセルポリシー:

参加費払い込み後のキャンセルは、返金をお引き受けできません。

【お申込み】

